

資料 4

## 平成 27 年度外部有識者点検対象事業一覧

## 平成27年度外部有識者点検対象事業一覧

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
004	医政局	へき地における医療提供体制整備の支援	井出	事業開始10年以上が経過することに鑑み、一度事業の再構築を検討する時期。	事業内容の一部改善	成果実績（活動実績）を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築すること。	執行等改善	無医地区等に対する医療提供体制の状況や医療需要の有無等について、今年度調査を実施したところである。本調査の結果を踏まえ、事業内容等の改善を含め検討してまいりたい。	-
028	医政局	外国人医師等研修受入推進事業	栗原	・アウトカムとアウトプットに事業実施病院数という同じ指標が用いられているが、本件事業の目標に照らしたアウトカムとして、外国人医師等の受入数や協力先の病院数等の協力関係がより分かる指標にすべき。 ・H26年度より実施されて間もなく、実施機関および予算の増加、単位コストの増加も見られることから、実施機関と参加者からの実績評価を吸い上げ、かつ実施機関が共有する場を設けるなどして、各機関の事業内容の向上、必要経費の見極めを行ってほしい。	事業内容の一部改善	成果実績（活動実績）を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築すること。	執行等改善	平成26年度は、諸外国からの研修生受入事業のみであったが、平成27年度からは国内の専門家の派遣及び研修生受入による諸外国の医療従事者の人材育成や政策形成支援を実施しているところであり、今後、アウトカムについては外国人医師等の受入数等とすることを検討する。また、平成27年度の実績を踏まえ、適切に必要な経費の見直しを行っていく。	-
029	医政局	専門医認定支援事業	長崎	有用な事業であると考えられるが、平成26年執行率から判断して相当減額することが求められる。	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	平成27年度において、390プログラムの申請があり、そのうち172プログラムについて支援を行うことを決定し、平成27年度における目標を達成したところ。また、平成28年度の概算要求において要求額を縮減している。	▲86
030	医政局	病床機能報告情報収集経費	増田	26年度で開発したシステムをどのように改修するのかの具体的な説明がない。また、使い勝手の改修にシステムの初期設計以上の予算が必要となる理由が不明確である。	事業内容の一部改善	レビューシートの記載内容の改善を図ること。	執行等改善	事業概要欄及び事業の効率性欄に追記を行った。	-
031	医政局	人生の最終段階における医療体制整備等事業	横田	終末期医療の相談体制は非常に重要につき、アウトカム、アウトプットについては明確な目標設定をもって推進することが望ましい。 ・利用率は前年ベースを基準とすることなく利用率の事前目標を、認知率は次回調査時で設定、モデル事業実施については機関数だけでなく相談件数（実人数ベース）、件数ベースのコスト計算も検討していただきたい。	事業内容の一部改善	より適切な成果指標や活動指標を設定すること。	執行等改善	27年度事業の執行過程において、相談件数を含め新たな活動指標を設定するとともに、活動指標の在り方を検討してまいりたい。	-
032	医政局	歯科保健医療サービスの効果実証事業	井出	資金の流れAIについて企画競争からより競争性の高い最低価格あるいは総合評価方式を検討していただきたい。	事業内容の一部改善	競争性のある契約方式へ移行すること。	執行等改善	ご指摘にある競争力のある契約方式への変更の検討を含め、さらなるコスト削減に努めたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
033	医政局	医薬品・医療機器産業海外展開推進事業	栗原	・海外調査事業については事業の終了年度を定めるべき。諸外国との交渉について終了時期の設定が難しい場合でも、現状のように20カ国を広く訪問している状況から、今後は、対象とする国と許認可、時期等のターゲットを設定し、その交渉進展の中で、適正な事務費に見直していくべき。 ・アウトカムとアウトプットが同一だが、課題とする許認可等の洗い出しとその改善数、または海外輸出が新たに認められた数等の成果目標を見直すことが適当。	事業内容の一部改善	より適切な成果指標や活動指標を設定すること。	現状通り	諸外国との協力関係構築のため、政府内に国別・地域別の会議が多数立ち上がっているが、いずれにおいても医療・保健分野の協力は主要なテーマとなっている。こうした中、協力対象国は増加の一途を辿っており、調査の必要性は当面高いままとならざるを得ない。諸外国との協議・交渉も単発で終了するものではないことから、引き続き所要の予算の確保が必要である。しかしながら、人的・金銭的リソースは限られていることから、対象とする国及び許認可や時期の絞り込みについて精査し、より適切な成果目標及び活動指標の設定について検討する。	-
034	医政局	医療保険者等レセプト電算処理システム改修事業	長崎	平成28年度診療報酬改定は既定のことであるのに何故26年度に予算計上し、執行しなかったか不明である。具体的実施計画の説明が求められる。	事業内容の一部改善	レビューシートの記載内容の改善を図ること。	執行等改善	外部有識者の指摘を踏まえ、「点検結果」欄を修正した。	-
035	医政局	医療・介護サービスの提供体制改革のための基金	増田	都道府県によって事業内容が画一的ではなく、実態調査とその調整が必要になるのではないかと。	事業内容の一部改善	成果実績（活動実績）を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築すること。	執行等改善	都道府県からは、計画した事業の事後評価を提出していただくこととしており、その結果を分析して事業効果を検証する仕組みを構築することを検討する。	-
036	医政局	女性医師支援センター事業	横田	医師国家試験1/3合格者である女性医師の離職率低減は重要な事業だが、就業成立件数が年28件と少なく事業有効性が不明。就業希望者数など追加の数値を検討していただくなど有効性を計りやすい指標設定を検討していただきたい（母数が異なり同列にできないものの関連事業の看護師事業にくらべ単位当たりコストが高い）。	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	執行等改善	ご指摘を踏まえ、毎年の求職登録者数を活動指標に加えることとする。	-
045	医政局	ナースセンターの在り方検討会費	井出	今年度だけの事業であり、また別主体を活用した結果として、納得した。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
046	医政局	看護師養成所における社会人経験者受入促進事業	栗原	・事業目的は理解でき、予算額も執行実績を反映し適切に見直されている。但し、本事業が開始されるH26年度以前から目標はほぼ達成されており（看護師養成所入学者に占める大卒者の割合）、年々微減の状況にあることから、H27年度の成果を踏まえ本事業の有効性を検証すべき。	事業内容の一部改善	活動実績を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築すること。	執行等改善	ご指摘を踏まえ、ポスター配布による活動実績を把握し、事業効果を検証する仕組みの構築できるよう検討してまいりたい。	-
058	医政局	外国人看護師・介護福祉士受入支援事業	長崎	今後ニーズの高い事業であると考えられるので、引き続き適正執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適切な執行に努めてまいりたい。	-
065	医政局	看護師の特定行為に係る研修機関支援事業	増田	未だ実績がなく、評価が難しいが、当初の行政目的を達成できるように執行されることを期待。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成26年度は、省令改正の遅れにより事業を実施できなかったため、評価が出来ないが、本事業は、医師又は歯科医師の指示の下、プロトコールに基づき、特定行為を行おうとする看護師を育成するために必要な経費であることか、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努めること。	-
066	医政局	歯科衛生士・歯科技工士養成のための教育に関する調査事業	横田	平成26年度で単年度事業。事業目的どおりアンケート結果の指導要領等への反映を行うこと。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)	
067	医政局	遠隔医療従事者研修事業	井出	執行率低調はコスト節減と評価します。今後とも適切な予算要求と執行をすること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適切な予算要求と執行に努めてまいりたい。	-
069	医政局	医療情報システム等標準化推進事業	栗原	・昨年度の行政事業レビュー（公開）での意見を踏まえ一部改善がなされている。長期継続している事業であり、高度医療情報普及推進事業の継続に当たっては、利用率を成果目標にし利用状況を把握すること、1社応札が続いているため引き続き入札周知に努めること、受益者負担や民間運営への切り換えを引き続き検討して頂きたい。また、医療情報システムのための医療知識基盤データベース開発事業は、「改善の方向性」にも記述されている通り、本年度で開発を終了し、今後の利活用の可能性に向けてこれまでの研究成果物を国で検収して頂きたい。	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。競争性のある契約方式への移行を検討すること。今後の利活用の可能性について、研究成果物を検収すること。	執行等改善	所見を踏まえ、高度医療情報普及推進事業については、標準マスターの利用率を成果目標として設定するとともに、引き続き利用状況を把握していくこととする。また、一社応札が続く状況を改善するため、事業の周知に努めていくほか、昨年度に続いて民間への移行等を進めていく。また、医療情報システムのための医療知識基盤データベース研究開発事業については、予定通り今年度をもって終了し、来年度からは、研究分野等における利活用を検討していく。	-
073	医政局	E B M普及推進事業	長崎	引き続き適正執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	医療現場において診療ガイドラインが活用されるよう、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。	-
078	医政局	医療事故情報収集等事業	増田	事業の必要性は認められるが、過年度の予算対執行比が100%と続いており、発注方法に検討の余地があるのではないか。	事業内容の一部改善	競争性のある契約方式への移行を検討すること。	執行等改善	医療法施行規則により、申請に基づき厚生労働大臣の登録を受けた登録分析期間が事業者であり、次回の更新は平成31年であることから、中期的な課題として検討していきたい。	-
080	医政局	産科医療補償制度運営費	横田	再発防止への貢献が望まれ審査件数増加に関わらず効率的に事務運営がなされている。引き続き適正な事業執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適切な執行に努めてまいりたい。	-
086	医政局	異状死死因究明支援事業	井出	体制拡充の必要性は是認するものの、経年的には執行率が低調であり、身の丈に合う予算要求が求められるのではないかと。	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	執行等改善	異状死の死因究明については、平成26年6月に死因究明推進計画が閣議決定され、異状死死因究明の取組みの充実が求められているところ。これを踏まえ、平成27年度からは地方の状況に応じた施策の検討を目的とした「死因究明に関する協議会」に係る経費を補助対象としており、各都道府県における死因究明についての取組みも進むものと見込まれる。上記のような状況を踏まえ、必要な予算の確保につとめるとともに、必要に応じ、当該事業について見直しを検討してまいりたい。	-
089	医政局	国立研究開発法人国立がん研究センター運営費	栗原	・継続的な予算削減の中で高い執行率から判断するに、適切な執行がなされている。但し、運営費が研究開発、医療、研修等にかかる人件費や材料費に使用されているのであれば、活動指標として用いられている英文論文数と研修会受入人数では主な活動を説明しているとはいえず、研究であれば研究や治験の実施件数、医療であれば患者数や高度な医療行為の件数等、活動をより評価できる指標に見直すべき。その際、法人の事業計画上の目標値と合致した指標が望ましい。 ・資金の流れでは外部支払の詳細が記されているが、合計しても9億円で、執行額全体66億円の13%に過ぎず、費用の主たる使途がシート上明確でない。主たる使途である法人内の費用項目で明示するのが適当ではないか（ex.人件費、委託費等）。	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。レビューシートの記載内容の改善を図ること。	執行等改善	平成28年度以降も、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。なお、ご指摘の所見を踏まえ、より活動を評価できる指標として治験の実施件数を追記し、「資金の流れ」において、費用の主たる使途である「人件費、退職手当」を記載した。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版				反映額(百万円)	
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		
091	医政局	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター運営費	井出	調達においてガス・電気についても今後は競争性が見込まれる可能性もあり、検討の余地があるのではないかと。今後も適正な予算要求と執行をすること。	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。ガス・電気に係る契約について、競争性のある契約方法の検討を法人に促すこと。レビューシートの記載内容の改善を図ること。	執行等改善	平成28年度以降も、引き続き予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。また、ご指摘を踏まえ、ガス・電気に係る契約については、競争性のある契約方法の検討を法人に促すこととする。加えて、より活動を評価できる指標として治験実施症例総数（国際共同治験を含む。）を追記し、「資金の流れ」において、費用の主たる使途である「人件費、退職手当」を記載した。	-
092	医政局	国立研究開発法人国立国際医療研究センター運営費	増田	独立研究開発法人として運営されており、その目的も評価できる。自己収入の更なる確保を図り、効率的な運営をすること。	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。レビューシートの記載内容の改善を図ること。	執行等改善	平成28年度以降も、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。なお、ご指摘の所見を踏まえ、より活動を評価できる指標として臨床研究実施件数（倫理委員会にて承認された研究をいう）及び治験（製造販売後臨床試験も含む）の実施件数を追記し、「資金の流れ」において、費用の主たる使途である「人件費、退職手当」を記載した。	-
098	医政局	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター施設整備費	横田	H27年度、大幅予算増となっている。（新築移転整備費（H27-29）が対象と予想されるが）、主な予算増理由をH29年度分まで追記すること。	事業内容の一部改善	レビューシートの記載内容の改善を図ること。	執行等改善	ご指摘を踏まえ、主な増減理由欄にH27年度の予算額が大幅増になった理由を記載した。	-
108	健康局	感染症予防事業費等負担金（感染症発生動向調査事業を除く）	井出	今後とも正確な予算積算・要求に努め、執行率において過度の上昇がないように努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
111	健康局	予防接種事故救済給付費	栗原	・今後新たなワクチンの予防接種への追加による審査件数および事業費の増加が予想されることから、円滑な審査と給付に関する成果指標を見直しつつ、引き続き適正な執行が確保されるよう努めていただきたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	次年度においても、引き続き事業の継続に必要な予算額を要求した。	-
113	健康局	結核患者療養諸費・結核医療費補助金・結核医療費負担金	長崎	過去の執行率から判断しても有用な事業と考えられるので、引き続き適正執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	結核のまん延を防止し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する有用な事業といえることから、引き続き必要な予算額を確保し、結核対策に取り組む。	-
118	健康局	肝炎ウイルス検査等事業費（肝炎患者の重症化予防推進事業）	増田	他に肝炎検査の啓蒙事業があり、その事業との一体性が認めらる。執行率も高く必要な事業である。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	所見を踏まえ引き続き、保健所等における利便性に配慮した肝炎ウイルス検査体制を確保し、肝炎ウイルス検査の受検促進を図る。特に肝炎ウイルス検査で陽性と判定されながらも医療機関未受診の者がみられることから、肝炎ウイルス検査陽性者に対する医療機関への受診勧奨を行うとともに、28年度においては定期検査費用に対する助成措置を拡充（所得制限の緩和）することにより、肝炎患者を早期治療に結びつけ、重症化の予防を図れるよう要求していく。	-
125	健康局	予防接種後副反応報告制度事業費（旧予防接種後副反応・健康状況調査事業費）	横田	調査票の回答数・回収率をアウトプットとして記載検討をしていただきたい。	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行を行う。また、外部有識者の意見を踏まえつつ、より適切な活動指標について検討する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
127	健康局	肝炎総合対策費	井出	随意契約からより競争性の高い方式を検討する必要があるのではないか。	事業内容の一部改善	調達方法の改善策を検討すること。	現状通り	本事業は立ち上げから時間が経過しておらず、効率的かつ効果的にメディア戦略や肝炎デーイベントの具体的な実施方法、企業の参加誘致に向けた具体的な手法、企業を巻き込んだ広報戦略等について具体的な仕様を示せる段階にはない。また、価格の要素を加味するとなると、広報戦略に係る経費が低廉で戦略性の低い安易な提案が相対的に有利となり、国内最大級の肝炎対策を推進する上で支障をきたす恐れがあることから企画競争方式により調達を行っているものである。	-
132	健康局	特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給業務費交付金	栗原	基金造成費用として適切に執行されている。全体の必要額（H23の閣議決定）と給付者の増加傾向を勘案すると、当初予算では不足することが明らかであり、当初予算及び補正予算の適切な予算化により基金からの給付が円滑に行われるよう、引き続き適切な運営に努めて頂きたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	提訴者数及び和解者数等を勘案し、基金からの給付が円滑に行われるよう、必要な額を要求した。	-
137	健康局	名誉回復事業	長崎	新規項目による増加額を含み引き続き適正な執行に努めること。	事業内容の一部改善	これまでの執行実績や今後の見込みを適切に反映させた上で、必要な予算額を確保すること。	現状通り	27年度限りの事業が終了したため、減額要求となっている。引き続き、必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。	-
141	健康局	私立ハンセン病療養所補助金	増田	ハンセン病療養所として、唯一の私立の施設に対する支出、対象人数の減少に合わせて予算・執行額も減額されており、必要な支出と認められる。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行に努める。	-
148	健康局	特定疾患治療研究費補助金	横田	H27年度より対象疾患がスモン等に絞られ予算が減少している。主な予算増減理由および対象疾患にしばったアウトカムアウトプットの記載をしていただきたい。引き続き事業の適正執行に努めること。	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	現状通り	難病の患者に対する医療等に関する法律の施行により、平成27年1月より本事業の対象疾病が大幅に減少することから、平成27年度以降の指標は、対象疾病の患者数に限定した指標を設定する。	-
164	健康局	難病医療費等負担金	井出	26から27年度にかけての予算額大幅増はどのような要因によるものなのか明確にすること。また、執行率についてはもう少し向上する余地があるのではないか。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成27年度予算額は、本事業の対象疾病が110疾病から306疾病に増加したこと等により、前年度から大幅に増額している。平成28年度概算要求については、平成27年度予算額に、平成27年1月から医療費助成を開始した110疾病分の自然増分を加えて要求している。今後、予算編成過程において、必要な予算額の確保に努める。	-
165	健康局	慢性疲労症候群患者の日常生活困難度調査事業	栗原	・H26年度の単年度で終了した調査事業であり、調査受託者が入札にはなっていないものの、執行率も100%を下回り、アウトプットも想定を上回っていることから、適正に執行された。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、当初予定していた調査実施患者数を大幅に上回る患者数から得られた知見は他の事業にも活用する。	-
172	健康局	原爆症調査研究委託費（原爆被爆者の分子生物学等及び免疫機能に関する研究）	長崎	引き続き適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
175	健康局	被爆二世健康診断調査委託費	増田	業務の委託が国から地方自治体、そして地方自治体から医療機関としているものがあるが、直接、国から医療機関へ委託することができないか検討すること。	事業内容の一部改善	事業の委託方法の効率化ができないか検証すること。	現状通り	事業の委託方法の効率化については、都道府県が医療機関と契約することで、地域の状況等に応じた委託先医療機関の追加といった柔軟な対応や、健診実施時に受診者、都道府県、医療機関との連絡調整が円滑に行われることが期待でき、また、都道府県では、既に法律に基づく被爆者健康診断を実施しており、被爆二世健診も同一医療機関において実施される場合も多いことから、現状の委託方法を継続することとした。	-
180	健康局	原爆被爆者健康診断費交付金	横田	現行通り適正に事業執行を行うとともに健康診断受診率維持・向上に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	予算の執行状況や補助実績を踏まえ、概算要求を行った。	-
182	健康局	原爆被爆者葬祭料交付金	井出	昭和44年度からの事業であり、一度事業の再構築を検討する必要があるのではないかと。	事業内容の一部改善	長期継続事業であることから、事業のあり方等について、適宜見直しを検討すること。	現状通り	被爆者の精神的不安を和らげ、福祉の向上を図るという目的から、検討した結果、今後も支給することが適当であると判断した。被爆者の高齢化により支給件数が高止まりしている状況を勘案し、28' 要求額を対前年度61百万円とした。	-
183	健康局	土地借料	栗原	・引き続き適正執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	広島市及び長崎市の条例等による支払予定額を算出し、適切な予算要求を行った。	-
194	医薬食品局	再審査・再評価調査事業	長崎	有用な事業であり、執行率も概ね妥当である。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今般、後発医薬品の使用促進の新たな目標として、平成32年度までに後発医薬品の使用割合を80%以上に引き上げることが閣議決定されたことに伴い、後発医薬品のさらなる品質に対する信頼性の確保が急務となっていることから、そのために必要な経費を計上した。	-
201	医薬食品局	医薬品副作用等被害救済事務費等補助	増田	(独) 医薬品医療機器総合機構にすべての業務を発注しているが、業務量等を考慮して発注金額を検討して貰いたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、業務量等を考慮して(独) 医薬品医療機器総合機構への発注金額を検討すること。引き続き、適正な執行に努めること。	縮減	保健福祉事業における調査研究対象者数が減少したことを踏まえて、発注金額の見直しを行った。	▲20
203	医薬食品局	エイズ患者遺族等相談事業	横田	現行通り適正に事業執行を行うこと。但し、事業ごとの相談件数、相談員数の記載等各委託先ごとの事業執行適正が図りやすい指標開示を検討していただきたい。委託先が分化している理由を明確にすること(各疾病の得意領域が異なるからか)。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえた事業執行の適正化が図りやすい指標開示を検討すること。また、委託先が分化している理由を明確にすること。引き続き、適正な予算執行を図ること。	執行等改善	活動指標にサリドマイド被害者生活支援等事業における相談件数の記載を追加した。また資金の流れの欄に委託先が分化している理由を追記した。	-
212	医薬食品局	後発医薬品品質確保対策事業	井出	今後とも適切な予算要求と執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今般、後発医薬品の使用促進の新たな目標として、平成32年度までに後発医薬品の使用割合を80%以上に引き上げることが閣議決定されたことに伴い、後発医薬品のさらなる品質に対する信頼性の確保が急務となっていることから、そのために必要な経費を計上した。	-
215	医薬食品局	PMDAにおける安全対策業務の充実・強化事業	栗原	・単年度のシステム改修事業は予定通り完了している。競争入札が1社応札となっていることから、今後改修がある場合は競争性を確保する更なる努力を図って頂きたい。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	予定通り平成26年度をもって終了するが、今後改修がある場合には、競争性を確保する更なる努力を図っていきたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版						
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)	
217	医薬食品局	薬局医療安全対策推進事業	長崎	適正な執行状況であり、引き続き予算措置が望ましい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	評価結果を踏まえ、必要な経費を計上した。	-	
219	医薬食品局	薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点新事業	増田	薬局の営業努力に負うべき事業内容ではないか。薬局の市場原理に任せることも考えられ、またどれ程のインセンティブがあるのかも疑問。この事業以外で、目的の達成を期する工夫はできないか。	事業全体の抜本的な改善	外部有識者の所見を踏まえ、当該事業のやり方以外で、目的を達成するための工夫が出来ないか検討すること。	廃止	外部有識者の所見を踏まえ、事業内容を精査した結果、平成28年度新規要求事項と同種の事業となる本事業については平成27年度限りで廃止することとした。	▲223	
220	医薬食品局	新販売制度普及促進事業	横田	H26年度、適正に事業執行が行われている。、H27年度実施内容の明記と終了年度記載、アウトカムは率に加え実数併記、を検討していただきたい。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、H27年度実施内容の明記及び終了年度の記載、アウトカムについて、率に加えて実数の併記を検討すること。	廃止	外部有識者の所見を踏まえ、当該事業の継続性を検討した結果、当該事業については、平成27年度限りで廃止することとした。	▲9	
230	医政局	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費	井出	今後とも適切な予算要求と執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	効率化できる経費について見直しを図った上で必要な予算額を確保し、適切な執行に努めてまいりたい。	-	
238	医政局	国産医療機器創出促進基盤整備等事業及び医療機器研究開発促進支援ネットワーク整備事業	栗原	活動指標（受入機関数）、成果目標（研修人数）共に超過達成しており、執行率も問題ない。研修人数が151人/機関と多くなっており、一過性の研修に留まらず専門人材を育成する事業内容になっているか、成果を検証しながら進めて頂きたい。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	平成27年度以降は、日本医療研究開発機構に移管されたため、機構と連携し実施していく。	-	
239	医政局	臨床研究・治験活性化5か年計画2012推進事業費	長崎	事業実施方法の変更に伴い予算を減額しており、妥当である。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	日本医療研究開発機構の下で実施する事業については同機構と連携して課題を確認し、適切に事業が実施するよう取り組むなど、引き続き適切な執行に努めていく。	-	
240	医政局	再生医療促進事業費	増田	再生医療は最先端医療であり、日本にとっても最重要事項であると考え。当該事業に係る周辺業務であり、より競争性を以て発注行為を継続されることを望む。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	縮減	平成28年度概算要求においては、効率化できる経費について予算の縮減（27年度予算額から▲10百万円）を行った。	▲10	
241	保険局	医療保険給付費国庫負担金等	横田	事業の執行および、秋のレビュー指摘に対する対応に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとする。	-	
252	保険局	医療保険制度企画調査費	井出	今後とも適切な予算要求と執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	現状通り	28年度概算要求において、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-	
255	保険局	医療費担当者指導費	栗原	・活動指標（受入機関数）、成果目標（研修人数）共に超過達成しており、執行率も問題ない。研修人数が151人/機関と多くなっており、一過性の研修に留まらず専門人材を育成する事業内容になっているか、成果を検証しながら進めて頂きたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、一過性の研修に留まらず専門人材を育成する内容になっているか、成果を検証しながら進めるとともに、引き続き予算額の確保及び適正な執行に努める。	-	
258	保険局	医療保険実態調査費	長崎	毎年度目標を達成しながら執行率は50%であるので予算減額が可能であると考えられる。	現状通り	27年度予算において予算が減額されており、執行率の改善が見込まれる。引き続き適切な予算要求と執行に努めること。	現状通り	27年度予算において、予算の縮減を行っており、今後も適切な予算要求と執行に努める。	-	



レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)	
261	保険局	薬価基準改正経費	増田	一般競争入札に依っており、必要な事業として妥当と認められる。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	現状通り	今後も適切な予算要求及び執行に努める。	-
266	保険局	歯科技工料調査費	横田	公募落札による執行率の低減で適正に事業執行がされている。H27年度実施無しは(恐らく診療報酬改定の間と思われるが)理由記載および回答率に加え回答数の併記を検討していただきたい。	事業内容の一部改善	一般競争入札の結果を踏まえ、適正な予算積算を行い、執行率の改善を図ること。	現状通り	従来のスケジュールであれば、H26年度には調査を実施せず、H27年度に調査を実施するものであったが、H27.10に消費税増税が検討されていたことから、その場合の診療報酬改定への対応の準備としてH26年度に調査を実施した。改定の前年度の調査結果を利用することが望ましいが、H26年度に実施した調査結果を利用することでもH28年度の診療報酬改定への対応が可能であることから、H27年度は実施しなかった。 回答数の併記については、次回作成するレビューシートからは記載を検討するものとする。	-
269	保険局	審査事務の機械化に要する経費	井出	今後とも適切な予算要求と執行に努めること。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
281	保険局	再審査事件等処理システムに要する経費	栗原	・予算執行実績を踏まえた予算額の見直しによる執行率の向上、活動指標の達成、一般競争入札での複数の入札による競争性の確保等、適正な執行がなされている。引き続き適正な執行を行うこと。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	現状通り	競争入札実績等を踏まえながら必要な予算額の確保をして適正な執行をしていく。	-
291	保険局	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費(DPCデータ公開に必要な経費)	長崎	データベース構築に当たっては厳格に一般競争入札を適用して執行されることを望みます。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	現状通り	一般競争入札(総合評価落札方式)を適用し執行することとしている。	-
292	保険局	在宅歯科医療に関する調査費	増田	26年度一回限りの事業であるが、事後の評価が必要。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は必要に応じて他の事業にも活用する。	-
293	保険局	高血圧の者(非肥満を含む)に対する介入モデル事業	横田	H27年度終了事業。引き続き適正に実施し検証結果の事業への反映を行うこと。競争性が保たれているか判断するため、入札者数・落札率の追記をしていただきたい。	終了予定	引き続き適正に実施し、予定通り平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は27年度で終了するが、終了後に適切に事業の評価を行い、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
294	保険局	被扶養者に対する特定健診・保健指導の実施率向上支援事業	井出	企画競争に何社が応募したのか明確にすること。今年度限定の事業で了解したが、事業成果を明確に把握していただきたい。	終了予定	本事業は平成26年度限りで終了となるが、成果実績が目標を下回ったことから、原因等を分析し、今後の事業に生かすこと。	予定通り終了	当該事業は終了するが、事業について適切に評価を行い、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
303	健康局	保健衛生施設等施設・設備整備費補助金(保健衛生施設等災害復旧費補助金含む)	栗原	・執行率も高く適正な執行と思われる。但し、市町村や医療法人への交付が、厚生局からの直接交付と都道府県から交付される流れがあり、その違いを明示して頂くとともに、現行の流れが合理的かどうか検討願いたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	資金の流れについては、適切な記載に修正した。	-
309	健康局	国民健康・栄養調査委託費	長崎	引き続き適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
311	健康局	健康増進総合システム(保守・運用)	増田	成果目標が健康寿命の延伸を指標としているが、当該事業の効果測定としてあまりに大雑把ではないか。当該事業規模では、大きな効果を期待するのは無理ではないか。事業内容の見直しが必要。	事業内容の一部改善	これまでの執行実績を踏まえ、必要な予算額を確保すること。	縮減	健康寿命の延伸については、健康増進法に基づく「健康日本21(第二次)」の柱となる目標であり、国民の生活改善に資する健康増進に関する最新の知見等を提供する本事業の目的から適当と考えるが、今回ご指摘を踏まえ、適切な効果測定の指標について検討を行っていききたい。また、予算額については、効率的な業務改善を図るため政府共通プラットフォームへの移行により予算縮減を行った。	▲23
312	健康局	健康増進総合システム(情報提供)	横田	H34年度運動習慣のあるものの割合41%達成までの推移計画を立てること。システムへのアクセス数は順調に増加している一方現状ではアウトカムとの相関性が乏しい。ログイン数などより効果的な指標を検討していただきたい。また委託先については競争性を保つため複数応札に努めること。	事業内容の一部改善	成果目標につながる事業内容となるよう見直すこと。	執行等改善	「H34年度運動習慣のあるものの割合41%達成までの推移計画」について、ご指摘を踏まえ、年次ごとの比例推移等による目標設定を検討する。また、より成果目標につながる事業となるよう、平成28年度より、女性の健康、循環器病に関するコンテンツの掲載も行い、生活習慣の改善に資する情報提供を行う。	-
317	健康局	地域健康増進促進事業	井出	年度が限定された事業ということは了解した。26年度あるいは27年度の執行率を勘案し、予算要求に反映していただきたい。	事業内容の一部改善	執行率を踏まえて予算を縮減すること。	縮減	本事業のうち、「宿泊型新保健指導試行事業」が終了し予算縮減した。得られた知見は他の事業にも活用する。	▲64
323	食品部	輸入食品の監視体制強化等事業	栗原	・食品安全に関し多岐にわたる活動を実施しており、活動指標を各々設定し適切に点検がなされている。足下のH27年度予算の増加理由が活動指標からも読み取れないため、シートに説明を付加した方が良い(類似システムとの統合費用か?)。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	所見「足下のH27年度予算の増加理由が活動指標からも読み取れないため、シートに説明を付加した方が良い」について、増加理由は平成27年度で新規に開始したHACCP普及推進関係事業によるもの。平成26年度においては活動実績がないため「活動指標及び活動実績」欄等に反映できないが、来年度からは当該事業も記載する予定。	-
325	食品部	農業等ポジティブリスト制度推進事業	長崎	過去の執行実績に照らしても有用な事業と考えられる。引き続き適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	評価結果を踏まえ、食品中の残留農薬等による健康被害を防止し、食の安全を確保するため、引き続き必要な予算額の確保、適正な執行に努めてまいりたい。	-
334	健康局	水道水源水質対策費	増田	必要な事業であり、円滑な事業の執行を求める。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	最新の科学的知見を水道水質基準等に反映させるために各物質の毒性情報、水道水中の存在量等の基礎情報を収集整理し、基準値・評価値等の設定及び変更や分類の見直しを行うために必要な費用を積算した結果、適正な予算となっている。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)	
335	健康局	給水装置等対策費	横田	調査実施項目数の減少に対し、執行額の減額幅が小さい理由を説明いただくこと。また一社応札となっており競争性の確保とともに適切な事業執行に努めること。	事業内容の一部改善	適正な予算積算となっているか検証の上、必要な予算額を確保すること。	執行等改善	平成24年度から26年度においては、給水装置構造・材質等調査実施項目数を削減し、一方で給水装置に係る課題検討に力点を置いて事業を進めてきたため、給水装置構造・材質等調査実施項目数の減少に対し、執行額の減少幅が小さいように見えている。 給水装置に係る課題検討に重点をおき、既存の給水装置用材料の構造及び材質基準への適合性の確認及び新たな材料や技術・システムによる給水装置にも適切に対応した基準確立のための調査・検討に要する費用を積算した結果、適正な予算となっており、競争性を確保した適正な事業執行に努める。	-
344	健康局	水道施設再構築計画策定支援事業	井出	27年度終了の事業ということは了解した。是非とも、事業成果を明確に把握していただきたい。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
345	健康局	水道水質管理ベンチマーキング推進事業費	栗原	・期限を設定して事業が実施されており、執行率、活動実績も問題ない。本事業の成果が達成できるよう、引き続き適正な執行に努めて頂きたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の評価手法を検討し、簡易専用水道設置者自ら、及び行政機関の指導強化による、水質管理水準の向上を実現のための方策を検討するための費用について積算した結果、適正な予算となっている。	-
358	健康局	建築物環境衛生管理技術者国家試験費	長崎	少額な予算であるが、引き続き適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適正な執行に努めていく。	-
360	労働基準局	労働条件の確保・改善に必要な経費	増田	地方自治体の広報誌への情報発信も当初の見込み通りであり、実効性を伴う事業と認められる。民間事業者の業務習熟による発注額の低減を期待。	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き事業の効率化に努めつつ、必要な予算要求を行う。	-
366	労働基準局	独立行政法人労働安全衛生総合研究所運営費交付金に必要な経費	横田	課題数の減少に対し予算は増額している。予算積算根拠を増減理由に記載すること。また一社応札、不落随契が生じているため競争性の確保に努めること。	終了予定	事業は当初の予定どおりの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	外部有識者の指摘については、統合後の法人において対処していくこととする。	-
372	労働基準局	呼吸用保護具の性能の確保のための買い取り試験	井出	今後とも1社応札が継続する可能性があるため、事後においても応札業者が適切な経費執行を行ったかチェックすること。	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者の指摘を踏まえ、経費執行については適切な確認を行ってまいりたい。	-
378	労働基準局	新規起業事業場就業環境整備サポート事業	栗原	・高い成果実績を上げており、引き続き事業の有効性を検証しながら執行して頂きたい。委託先選定が一般競争入札に切り替えられているものの、1社入札で落札率も高いことから、入札周知の方法等競争性の更なる確保に向けた取り組みを行って頂きたい。	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適正な執行に努めてまいりたい。なお、本委託事業は、「公共サービス改革基本方針」（平成25年6月14日閣議決定）別表において、民間競争入札の対象として選定されており、平成26年度に「競争の導入における公共サービス改革に関する法律」に基づく民間競争入札を実施し、平成27年度から2年間の事業を実施することとしている。	-
380	労働基準局	安全衛生施設整備等経費	長崎	平成27年度予算増額の具体的な理由を明確にすること。	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者の指摘による平成27年度予算増額の具体的な理由については、国交省に支出委任している安全衛生総合会館に係る改修工事のための経費が対前年で約2倍となったことによる増である。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版			
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)
383	労働基準局	独立行政法人労働安全衛生総合研究所施設整備費に必要な経費	増田	独立行政法人の設備更新であり、一般競争入札に依ってより、より効率的な調達を期待。	終了予定 事業は当初の予定どおりの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了 外部有識者の指摘については、統合後の法人において対処していくこととする。	-
385	労働基準局	安全衛生啓発指導等経費（委託費を除く）	横田	労働者災害を減少すべく、引き続き現状通り事業を執行すること。ただ例年不用額が発生しているためH26年度実績を速やかに精査し適正な予算要求に努めていただきたい。	現状通り 点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	縮減 旅費の単価減や災害防止計画等普及資料の購入部数を見直し、要求額を縮減した。	▲1
393	労働基準局	労働安全衛生等事務費	井出	執行率の向上に努めるか、あるいは身の丈に合う予算要求をするか検討いただきたい。	事業内容の一部改善 点検結果は妥当であり、執行率も良好であるが、外部有識者のコメントを踏まえて、必要な検討を行うこと。	縮減 光熱水料の見直しや修繕対象施設の減により、要求額を縮減した。	▲11
397	労働基準局	新規化学物質の有害性調査試験	栗原	・平成27年度に執行実績を勘案した予算額の見直しが行われている点は評価できる。アウトプットとアウトカムの指標について、活動実態とその成果をより表す評価指標に見直す余地がある。例えば、アウトプットは新規化学物質届出審査件数と有害性調査機関調査案件数に、アウトカムは新規化学物質の有害性公表件数等に見直す余地がある。	現状通り 点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 外部有識者の指摘については、新規化学物質の届出及び有害性調査機関の申請は受動業務であり、その審査や公表の件数は指標には馴染まないため、修正は困難である。	-
424	労働基準局	安全衛生に関する優良企業を評価・公表する制度の推進	長崎	行政経費の執行実績不明であり、今後この実績を見て判断する必要がある。	事業内容の一部改善 成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。	執行等改善 制度については平成27年度より本格的に開始されたものであり、今般の働き方改革の要請から閣議決定された「過労死等防止対策大綱」（平成27年7月24日）において、制度の周知啓発を広く実施するよう要請されているものである。これを受け、平成28年度予算要求から周知啓発費用を計上しているため増額要求となっているが、効果的な周知啓発を行うと共に、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。	-
425	労働基準局	労働災害減少のための安全装置等の開発に関する調査研究	増田	26年度が初年度の事業であり、有効な調査結果を期待。	終了予定 事業は当初の予定どおりの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
426	労働基準局	建設業職長等指導力向上事業	横田	H26年は事業初年度につき教育教材の作成がなされたが、H27年度も同様の予算計上となっているため、予算算出根拠を示すこと。また研修概要（時間など）と開催回数の追記と、東日本大震災による建設現場の人材不足に対応することが目的となっているため終了年度の記載もあわせて検討いただきたい。	現状通り 点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 外部有識者の指摘を踏まえて、「事業概要」欄に記載することとした。（以下①、②を追加） ①職長等指導力向上教育（再教育）教材の作成（研修会配布用） ②職長等のための指導力向上教育研修会の開催（47都道府県×3回、政令市20回） また、教育教材については、印刷経費のみを計上しており、28年度も同様に予算要求したところ。なお、事業の終了年度については状況を踏まえて、引き続き検討を行ってまいりたい。	-
427	労働基準局	東電福島第一原発・除染作業者の放射線関連情報の国際発信の強化	井出	執行率の向上に努めること。	事業内容の一部改善 成果実績は目標を達成しており、活動実績は概ね当初見込みどおりとなっているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。	執行等改善 平成28年度においては、実績等を踏まえて国際発信内容等検討会の開催回数を見直すこと等により、執行の改善を図る。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
428	労働基準局	産業保健活動総合支援事業	栗原	・アウトプットの設定と実績把握が適切になされているが、アウトカムについては、満足度ではなく、本事業の必要性を説明する成果目標が必要である。 ・H26年度から開始された事業であり、各地域での事業規模が適正か、何を達成目標にどの程度の期間事業を実施するのか、全体計画の設定と成果の検証を行いながら進めてほしい。	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者によるアウトカムに関する指摘について、医師、保健師及び産業保健スタッフ等への研修や小規模事業場を中心とする相談事業は、本事業の中核をなすものであり、満足度により両事業を評価することは、事業の有益性や事業内容を検証する上で重要な指標であると考えている。また、成果の検証に係る指摘については、現行においても地域ごとにメリハリをつけて予算配分を行いつつ事業を実施しており、年度ごとの精算結果を踏まえて予算要求に反映させることとしている。引き続き適正な執行に努めてまいりたい。	-
429	労働基準局	作業環境管理等対策事業	長崎	平成26年度の執行実績を早急に把握すること。	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も概ね当初見込みどおりとなっているが、執行率を踏まえ、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額縮減について検討すること。	縮減	検討事項の変更に伴い、研究機関等作業環境実態把握業務を前年度限りとして、業務内容を見直した。	▲16
430	労働基準局	若者の「使い捨て」が疑われる企業等への対応策の強化	増田	総合評価落札方式によって発注先を選定しているが、より有効な方法手段によることも考えられ、企画競争も検討する価値がある。	事業内容の一部改善	活動実績の一部について当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等予算額縮減についても検討すること。	現状通り	外部有識者からの指摘については、検討の結果、より競争性の高い総合評価落札方式によって今後も引き続き実施していくこととしている。行政事業レビュー推進チームからの指摘については、活動指標に対する当初見込みを達成するべく、更なる効果的な周知広報等を実施することとしている。なお、平成26年度における不用額については、入札差額が生じたことに加え、年度当初を予定していた調達が年度途中となったことによるものであり、現状通りの要求額とした。今後とも適切な執行に努めて参りたい。	-
431	雇用均等・児童家庭局	パートタイム労働者等の健康管理事業	横田	H27年度委託内容を明記するとともに競争入札の複数参加に努めること。また調査事業につき終了年度の明記を行うこと。	現状通り	点検結果は妥当であるが、外部有識者からの指摘の通り、執行面での競争性を高めること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
435	統計情報部	労働災害動向調査費	井出	執行率の向上に努めること。	事業内容の一部改善	執行率が低調であることから、予算額を縮減すること。	現状通り	当該経費は厚生労働行政の基礎資料となる調査に係るものであり、重要な経費である。例年、入札により経費を抑えているものであるが、平成28年度も例年通りの入札額となる見込みを現時点で立てることは困難であり、さらなる予算の縮減が行われると予算内での事業実施が困難となるおそれがあるため、前年度同額を計上するものである。なお、平成25年度までの執行状況を勘案し、平成26年度予算額を縮減したことにより、平成26年度執行率は90%未満であるものの対前年度から改善を図ることができており、今後とも適正な予算執行に努めることとする。	-
445	労働基準局	社会復帰特別対策援護経費	栗原	・迅速に事業が遂行されている。執行状況が安定しており、執行率が80%程度で推移していることから、実績を勘案した予算額への見直しを行いつつ、引き続き適切な執行に努めること。	事業内容の一部改善	点検結果は妥当であり、執行率も良好であるが、外部有識者のコメントを踏まえて、必要な検討を行うこと。	縮減	執行実績を踏まえ、所要額を減額の上、概算要求を行うこととした。	▲32

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)		
450	労働基準局	労災保険相談員等設置費	長崎	都道府県労働局の支出実績の把握を早期に行ったうえで、予算の適否を判断すること。	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後とも、執行状況等を把握し、適切な予算要求を行うとともに、適正な執行に努める。	-
460	労働基準局	労災疾病臨床研究事業	増田	労災疾病の臨床研究事業で、個人研究者に多くの補助を行っている。26年度を初度として27年度の予算は3倍以上を措置しているが、26年度の研究補助の成果の評価に基づいて27年度予算の執行を考えること。	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	27年度予算の執行に当たっては、外部有識者から構成される評価委員会において、26年度の研究実績や進捗状況、今後の研究計画などを評価し、27年度も継続可と判断された研究課題について予算を執行しているところであり、今後も適正な執行に努めていく。	-
472	労働基準局	雇用労働相談センター事業	横田	執行率は年度途中からの実施につき問題ない。引き続き競争性を保ちつつ事業の適正執行を行うこと。地域ごとの相談件数と単位当たりコストをH27年度分より記載を検討していただきたい。	事業内容の一部改善	活動実績を高める手法について検討を行うなど、事業内容の精査を行うこと。	執行等改善	活動実績を高めるため、内閣府や地方公共団体等関係機関と連携し、関係機関のHPにおける情報掲載、チラシやリーフレットの配布等による周知広報を行った。また、外部有識者の所見を踏まえ、地域ごとの相談件数と単位当たりコストを記載している。	-
474	労働基準局	石綿健康被害救済事業に必要な経費	井出	今後とも適切な予算要求と予算執行に努めること。	事業内容の一部改善	成果実績が目標を下回り、かつ活動実績も当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、事業内容の改善を図るとともに、積算を見直す等事業内容を精査し、予算額を縮減すること。	縮減	一般拠出金収入の増に伴う石綿健康被害救済事業交付金の増により、全体としては増額となっているものの、一般拠出金徴収事務費については、執行実績等を踏まえて予算額を縮減した。	▲1
477	職業安定局	ハローワークプラザ運営費	栗原	・拠点の削減に伴い事業規模の見直しを適切に実施している。成果目標の就職率も年々上昇している。点検結果、改善の方向性として示されている効果的・効果的な事業運営に向けた取り組みを引き続き進めて頂きたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	廃止	外部有識者からの指摘及び点検結果・改善の方向性を踏まえ、利用者の利便性の向上を図るため、職業紹介業務に加え、雇用保険関係業務も取扱う庁舎外窓口として施設の再編を行うとともに、それ以外のハローワークプラザについては、行政需要を踏まえた職業相談・紹介を限られた行政資源の中で提供していくため、業務を本所に集中化し、平成27年度をもって事業を廃止することとする。 なお、平成28年度要求においては、廃止施設の現状回復費等の一時的経費を計上している。	▲229
480	職業安定局	再就職支援プログラム事業費	長崎	引き続き適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	縮減	事業を担当する就職支援ナビゲーターの配置数について見直しを行った。	▲242
487	職業安定局	職業安定行政推進費	増田	25年度及び26年度の予算の執行状況からして、27年度の予算額は多すぎるのではないかと。執行状況を勘案し、要求額を精査をすべきではないかと。	事業内容の一部改善	執行実績等を踏まえ、職業紹介及び職業相談の円滑な運営を図るため適正な予算額となるよう検討すること。	縮減	外部有識者からの指摘及び執行実績等を踏まえ、要求額の見直しに努めたが、ハローワークプラザの再編を行うことにより、ハローワークプラザから、雇用保険業務も取扱う庁舎外窓口へ移行する施設分の事業経費などを新たに要求する必要が生じたため、全体として予算額は微増となる結果となった。	▲2

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)	
494	職業安定局	「建設人材確保プロジェクト」の推進	横田	大人数の不足分野における求人に対応しているため引き続き適正な事業執行を行うこと。ただし不用額がH26年度発生している理由とH27年度予算増額根拠の説明とともに被災地を中心とした建設人材確保となっているため「全国就職件数に占める被災3県の就職件数割合」等、被災地関連の就職割合を明記すること。また成果指標がH26、H27で変更した理由を明確にすること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	<H26年度不用理由とH27年度予算増額根拠について> ・平成26年度に不用額が生じている理由は、就職面接会や事業主向けセミナーについて、合同開催等により効率的な実施に努めた結果である。なお、平成27年度予算の増額の理由については、建設分野の人材確保を推進するため、プロジェクト実施ハローワークの拡充や就職支援コーディネーターの増員等を行う必要があったためである。 <被災地関連の就職割合について> ・本事業の平成26年度の「全国就職件数に占める被災3県の就職件数割合」は17.2%となっている。 <成果指標の変更について> ・建設分野の人材確保のためには、未充足求人の解消に努めていくことが課題とされている。その課題解決に向けて、本事業では、人材不足を抱える事業主に対して、未充足求人に対するフォローアップ等の取組を行っており、その取組内容が、建設分野の人材確保に有効に機能しているか測る必要があるため、成果指標を変更した。	-
495	職業安定局	民間活用によるキャリア・コンサルティング等就職支援事業	井出	執行率の低調原因は了解した。継続される事業であれば、企画競争より競争性の高い総合評価方式などへの移行を検討すること。	事業内容の一部改善	競争性のある契約方式へ移行すること。	執行等改善	企画競争より競争性の高い契約方式への見直しを行う。	-
499	職業安定局	受給資格者創業支援助成金	栗原	・H25年度からH27年度にかかる経過措置の事業であることから、着実に事業を終了させること。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
501	職業安定局	地域雇用開発助成金(地域雇用開発奨励金)	長崎	雇用情勢の改善に対応して予算の減額が望ましい。	事業内容の一部改善	現在の雇用情勢・執行状況等を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	現在の雇用情勢・執行状況等を踏まえて計上経費を精査し、概算要求額の縮減を図った。	▲6,943
504	職業安定局	介護雇用管理改善等対策費	増田	過年度の予算の執行率が極めて低く、当事業の目的は終了したと考えられる。そのため、平成27年度は僅少な予算で対応することに合理性が認められる。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	外部有識者からの指摘を踏まえ当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
506	職業安定局	沖縄早期離職者定着支援事業	横田	引き続き適正な事業執行を行うこと。但し、若者の離職低下に貢献しているか不明なため沖縄における若者の失業率推移など、本事業の効果が図りやすい指標の追加を検討していただきたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適正な執行に努める。なお、ご指摘を踏まえアウトカム指標を追加した。	-
512	職業安定局	港湾労働者派遣事業対策費	井出	今後とも適切な予算要求と執行に努めていただきたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後も、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
516	職業安定局	雇用促進融資業務	栗原	・事業内容の計画性が高く、引き続き適切な執行管理を実施して頂きたい。 ・H31年度迄の財投償還に見合った業務と理解したが、事業終了年度がH49年度と異なっている理由を明確にすること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	「事業概要」欄において、ご指摘の内容について明確にした。	-
519	職業安定局	中小企業基盤人材確保助成金等	長崎	事業廃止予定の着実な実行が必要である。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	反映額(百万円)		
526	職業安定局	高齢者就業機会確保事業費	増田	労働人口の減少に伴う高齢者雇用は今後の社会にとって必須と考えられる。当業務の執行率は高いが、最終的に交付を受けるのは各都道府県のシルバー人材センター等であり、当該団体での事業の執行に対する監査・監督が必要と考えられる。当該団体の評価を実施すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	シルバー人材センターの事業の執行については、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会や各都道府県労働局を通じて監査・監督を実施しているところであるが、引き続き適正な事業の執行が行われるよう監査・監督を実施していくこととする。	-
527	職業安定局	障害者試行雇用奨励金	横田	例年不用が生じている。適切な予算積算を行うとともに、予算投入に対して一定の成果が結実されるよう、適正執行に努めること。トライアル期間等、事業概要がより分かりやすいよう記載していただきたい。	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	執行実績等を踏まえ、予算額の縮減を行った。また事業概要について、トライアル期間等を記載するなど、より分かりやすい記載とした。	▲663
535	職業安定局	障害者初回雇用（ファースト・ステップ）奨励金	井出	5年以上が経過している事業であるため、一度成果・効果の検証をすること。また、関連事業とのすみわけについて確認すること。さらに、執行率において過度の上昇がないように努めていただきたい。	事業内容の一部改善	事業開始から5年以上が経過しているため、一度成果・効果の検証をすること。	現状通り	本助成金の活用により、これまで障害者を雇用していなかった企業（0人雇用企業）が新たに雇った障害者数は、毎年、目標値を超えており、本助成金の果たす役割は大きいと言える。なお、関連事業（527、528）については、障害者を試行的に雇用する際に支給する助成金であるため、事業の内容及び対象が異なるものであり棲み分けができていない。	-
548	職業安定局	刑務所出所者等就労支援事業	栗原	・予算の執行状況、成果・活動指標の把握、委託者の選定等適切に実施されている。H27年度の予算が前年度に比し2倍以上になっており、活動の拡大以上の増加が見られることから（単位コストが増加）、その内容と必要性についての点検結果を追記することが望ましい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成27年度予算においては、刑務所出所者等への就労支援をより一層強化するため、就職支援ナビゲーターの増員や協力雇用主への支援事業等を新たに実施している。	-
551	職業安定局	日雇労働者等技能講習事業	長崎	企画競争入札によっても地域別には一社応札になっていると見受けられる。複数者からの応札により競争性を高めるための取り組みが必要と考えられる。	事業内容の一部改善	競争性のある契約方式へ移行すること。	縮減	平成27年度より、競争性を高めるため、総合評価落札方式による入札を実施するとともに、さらに、平成28年度も引き続き総合評価落札方式による入札を実施するとともに、複数者からの応札を促進するため、仕様書の改善等に取り組んでいく。	▲11
552	職業安定局	新卒者等に対する就職支援	増田	新卒者に対する就職支援業務の存在を初めて知った。確かに新卒者の内定率が低い時には深刻な問題だったのだろうが、規制改革の下で粗製濫造された大学にも学生の就職相談に乗る義務があるものと思われる。去りとは言え、就職困難な新卒者を何らかの方法で救済する必要も認める。成果の指標としてジョブサポーターの支援による就職者に係る費用単価5万円前後が果たして尺度になるのかは疑問がある。現在のサポート体制に対する評価を別の方法によって検証すべきではないか。多額の予算を投入しているのだから、その成果の測定には多面的な評価が必要。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	縮減	成果指標に「新卒応援ハローワークにおける就職者数」を追加し、単位あたりコストについても「執行額/新卒ハローワークにおける就職者数」を算出することとした。より効率的な事業実施のため、相談員等の削減により、概算要求の削減に努めている。	▲391
565	職業安定局	精神障害者に対する雇用管理ノウハウの蓄積と普及	横田	例年不用が生じている。適切な予算積算を行うとともに、予算投入に対して一定の成果が結実されるよう、適正執行に努めること。	事業内容の一部改善	外部有識者の指摘及び執行実績等を踏まえ、会場借り上げ料等の縮減を行った。	縮減	執行実績等を踏まえ、会場借り上げ料等の縮減を行った。	▲2



レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版			
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)
569	職業安定局	「多元的で安心できる働き方」の普及・拡大事業 (旧:「多元的で安心できる働き方」の導入・促進事業)	井出	競争性による不用額は有利差異であり、評価する。よって、より一層の執行率を鑑みた予算要求をすること。	現状通り 引き続き、事業の適正な執行に努めること。	現状通り 平成28年度より、委託事業のメニューを拡充(非正規雇用労働者の賃金等に関する調査研究を追加)するため、概算要求額は増加するが、委託費以外の事務費(諸謝金、旅費、庁費)については執行実績を踏まえて見直し、概算要求に反映した。	-
583	職業安定局	地域人づくり事業	栗原	・H26年度の数字が精査中となっており、執行状況のレビューが困難である。平成25年度に都道府県向けに拠出した状況を記載し、速やかに、各都道府県での基金の執行状況、効果を検証すること。	終了予定 事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了 平成25年度に都道府県向けに拠出した状況を記載するとともに、平成26年度の執行状況を記載した。なお、当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。また、予定どおり、平成27年度末で事業を終了し、各都道府県に基金の残額がある場合は、平成28年度中に国庫へ返納予定。	-
584	職業安定局	中小企業障害者多数雇用施設設置等助成金	長崎	平成26年度執行額が0円となっているが、早期の実績把握とそれに対応した予算に修正することが望ましい。	事業内容の一部改善 執行率を踏まえ、事業内容を見直すこと。	縮減 認定状況等を踏まえて積算を見直し、予算額の減額を行った。	▲8
0585	職業安定局	中小企業等に対する障害者雇用相談支援、啓発事業	増田	障害者の雇用は企業にとって難しい点があるが、それを解決する当事業の意義は認められる。ただし、評価指標の単位当たりのコストが@24千円と言うのがどのような相談事項を解決したのかが不明確。評価指標を再検討すること。	事業内容の一部改善 単位当たりコストの内容が不明確であるため、別の指標を検討すること。	縮減 単位当たりコストは、執行額を相談件数で除したものであり、同一の相談担当者が窓口において相談にあたっていているため、相談事項ごとにコストを算定することは困難である。28年度要求においては、障害者雇用に係る優良事例の収集・普及、優良企業の認証制度に係る経費を廃止し、予算の縮減を図っている。	▲2
586	職業安定局	精神障害者・発達障害者の雇用ノウハウの蓄積・普及を図るためのモデル事業	横田	不用額発生理由をふまえ適正な予算計上を行い事業執行とともに好事例の周知に努めること。またモデル事業実施につき、ある一定のノウハウがたまった時点を持っての事業終了年度設定を検討していただきたい。	事業内容の一部改善 執行実績を踏まえ、適正な予算となるよう検討するとともに、事業の一定の効果がでた時点で事業終了年度の設定についても検討すること。	廃止 当該事業について、一定の効果が出たことから事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	▲103
588	職業安定局	雇用保険活用援助事業費	井出	事業開始から20年近くが経過しているため、一度再構築を検討することも必要ではないか。企画競争による一者応札についてはやはり改善の余地を見出すこと。	事業内容の一部改善 競争性のある契約方式へ移行すること。	執行等改善 本件事業は「公共サービス改革基本方針」(平成24年7月20日閣議決定)に基づき平成26年度から市場化テストの対象となっているところ、平成28年度以降は官民競争入札等監視委員会における審議を踏まえ事業内容を精査するとともに、競争性の確保に資する見直しを行う予定である。	-
591	職業能力開発局	ものづくり白書	栗原	・毎年執行率が低く推移しており、執行額に影響する配布部数が変わらないことを勘案し、予算額を適正に見直すこと。	事業内容の一部改善 執行率を踏まえ、適正な予算額となるよう見直しを検討すること。	縮減 予算額について、前年度までの実績も踏まえ、できる範囲の見直しを行い、28年度要求を行ったところ(前年度比▲20千円)。本経費については、年度によって印刷製本の頁数が増える等執行額増額事由が生じる可能性があるため、上記見直し以上の予算額減額は困難。	▲0
602	職業能力開発局	ジョブ・カード制度(職業能力形成プログラム)推進事業	長崎	商工会議所への委託に競争性の導入が求められる。	事業内容の一部改善 競争性のある契約方式への移行を検討すること。	執行等改善 入札方法の見直し等を検討する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)	
607	職業能力開発局	情報処理技能者育成施設（コンピュータ・カレッジ）及び地域職業訓練センター等の施設整備等に必要経費	増田	同事業の移管に伴って発生する修繕費及びコンピュータのリース料等であり、修繕費については26年度を以て終了その役目を終わったので、可能な限り費用の削減に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、執行額の効率化を図りながら、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
618	職業能力開発局	若年労働者等キャリアアップ支援・相談事業	横田	単年度終了事業。本事業の成果の一つである研修プログラムを、関連事業での活用なども検討すること。また今後若年層の失業者数推移を注視し、再実施検討の際は関連事業との連携も念頭に置くこと。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	本事業は予定通り平成26年度で廃止済みである。なお、本事業で開発した研修プログラムは、平成27年度事業番号0589「キャリア・コンサルティング普及促進事業」において、キャリア・コンサルタントを対象とした資質の向上のための機会の提供の一環で活用している。	-
619	職業能力開発局	キャリア相談メール事業	井出	今年度限りの事業と認識し、執行額・執行率についても了解した。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	本事業は予定通り平成26年度で廃止済みである。	-
621	職業能力開発局	キャリア教育専門人材養成事業	栗原	・予算執行、活動実績等適切に実施されている。委託先が1社の企画競争入札となっていることから、一般競争入札を導入し周知等により競争環境を高めつつ、引き続き適切に執行すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	執行等改善	平成27年度は、一般競争入札方式により調達を行い、競争環境を高めた上で執行している。引き続き適正な執行に努めつつ、必要な予算額を計上していく。	-
622	職業能力開発局	キャリア教育プログラム開発事業	長崎	事業完了予定であり、適正執行であった。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	本事業は予定通り平成26年度で廃止済みである。なお、本事業で開発したプログラムは、平成27年度事業番号0621「キャリア教育専門人材養成事業」においてその一部を活用している他、厚生労働省ホームページに掲載しており、引き続き周知していく。	-
623	職業能力開発局	就職活動に困難性を有する学生等に対する職業訓練の推進	増田	26年度だけの事業で、当初の見込み通りの予算の執行が進めなかった。就職困難な学生の就活支援に関して制度の見直し等の改善を求める。	事業内容の一部改善	活動実績を踏まえ、制度内容の見直しを検討すること。	執行等改善	本事業の対象者について卒業年次の10月時点で就職未内定の大学生等に限定していたが、以下の者を対象とするなど改善を図った。 ①積極的に就職活動を行っている卒業年次の大学生等で、就職活動の円滑化と就職の実現を図るため、コミュニケーション能力等の社会的スキルを習得する必要がある者 ②積極的に就職活動を行っているものの、コミュニケーション能力等の社会的スキルが乏しいことにより、就職の内定を得ることができない大学等卒業後3年以内の者	-
629	職業能力開発局	技能継承・振興対策費（ものづくり立国の推進）	横田	若年者への技能の魅力を開発する事業であるが、新規マイスターおよび受講者数に着目しより開発を重視した事業執行に努めていただきたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	点検結果を踏まえ、平成28年度概算要求において、若年者が進んで技能者を目指す環境の整備や若年ものづくり人材の確保・育成のための必要額を計上しました。予算の執行に当たっては、新規マイスター及び受講者数を増加させるよう効率的な執行に努めます。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)	
633	雇用均等・児童家庭局	事業所内保育施設設置・運営等支援助成金	井出	見込み違いは管理可能責任とも判断されるため、精査し、必要であれば身の丈に合う予算要求をすること。	事業内容の一部改善	点検結果は妥当であるが、外部有識者の指摘の通り、執行率が低調であるため、予算額の縮減を図ること。	縮減	平成26年度の執行状況等を勘案し、予算要求額の縮減を図る。	▲712
635	雇用均等・児童家庭局	安心して働き続けられる職場環境調査研究事業	栗原	・毎年の執行額がほぼ同額となっており、執行率も6割台で推移していることから、適切な予算規模に見直すこと。委託先は複数社が入札する一般入札形式になっており競争性は確保されている。 ・調査テーマの選定理由と選定プロセスの合理性を確保し、調査結果の活用状況を検証しつつ進めて頂きたい。	事業内容の一部改善	点検結果は妥当であるが、ここ数年、執行率が低調であることから、予算額を縮減すること。	現状通り	「日本再興戦略改訂2015」において、女性の活躍推進が明記されており、政府の重要政策の一環であることから、仕事と家庭の両立を推進するための解決すべき政策課題に機動的に対応する必要があるため。	-
637	雇用均等・児童家庭局	在宅就業者支援事業	長崎	今後ニーズの高い事業であると考えられるので、引き続き適正執行に努めること。	現状通り	点検結果も妥当であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	適正な予算執行の下、引き続き、事業を効果的に進行。	-
645	雇用均等・児童家庭局	ポジティブ・アクション能力アップ助成金	増田	26年度からの新規事業だが、執行率ゼロである。その目的である女性の活用は必要ではあるが、30万円がどれほどのインセンティブになるのか、極めて効果が期待できない事業内容と考えられる。	事業内容の一部改善	制度上の仕組みによって平成26年度の実績がないとのことであるが、外部有識者の指摘にもあるとおり金銭的なインセンティブにならず、ニーズがそもそも低いのではないかと。そうであれば、事業内容の見直しを図るとともに、予算額を縮減すること。	現状通り	平成26年度においては、30時間以上の研修の実施を含む取組を6ヶ月以上行った上で、管理職登用等の数値目標を達成することを支給要件としており、1年度のうちに支給申請まで行うことが困難で利用しにくい制度となっていたことから、事業主にとってより利用しやすい制度となるように、助成金の額も含めた制度の見直しをすでに行ったところであり、平成27年度中（女性活躍推進法成立後）に実施することを予定している。 新しい制度では、取組内容を30時間以上の研修に限定せずに様々な取組を対象とするほか、数値目標だけではなく、一定以上取組が進んだことが確認できた場合にも費用の一部を支給することとし、最大で60万円の支給が可能な制度としている。女性活躍推進法が平成28年4月に施行された後は、各企業で女性活躍に係る数値目標の設定や行動計画の策定等を行うこととなるが、見直し後の制度では、これらの取組を実施し目標を達成した場合に一定額を支給することとしており、法の施行に伴って本助成金の需要が高まることが想定され、特に当該取組について努力義務が課される中小企業からの申請増加が見込まれることから、予算額を増額することとする。	-
646	雇用均等・児童家庭局	パートタイム活躍推進企業支援事業	横田	サイト活用状況を把握するため閲覧数推移等の記載を検討すること。H32年度の宣言企業数10は低く目標設定とはいえない。さらに予算の不用が生じている一方予算増額の根拠を示すとともににより費用対効果に資する適正な指標ならびに成果目標の設定を検討していただきたい。	事業内容の一部改善	外部有識者からの指摘の通り、成果目標として掲げられている取組宣言企業数について、10社を最低基準とすることで事業目的を達成できると考えつらいため、目標を設定し直すべきではないか。	縮減	当該事業は27年度新規事業であることから、27年度の実施状況を踏まえて目標設定を検討する。	▲11
647	雇用均等・児童家庭局	パートタイム労働者キャリアアップ支援事業	井出	事業を継続するのであれば、企画競争から総合評価方式など、より一層の競争性が確保できる調達形態への移行の検討をすること。	事業内容の一部改善	外部有識者からの指摘の通り、より競争性を担保できる調達方法を検討すること。	廃止	他事業との統合により、当該事業は廃止することとするが、外部有識者からの指摘を踏まえ、統合後の事業はより競争性を担保できるよう調達方法を検討する。	▲58

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
663	雇用均等・児童家庭局	保育所等整備交付金	栗原	・H26年度開始の事業であるが、同年度は未執行となっており、早期に実施する事業につき、迅速な執行を行うこと。待機児童解消加速化プランはH29年度迄の数値目標のある政策であることから、本事業でも適正に予算を計上し執行することと、終了年度を29年度に設定して行うべきではないか。	事業内容の一部改善	待機児童解消加速化プランの着実な実施に向け、適正に予算を計上し執行すること。また、適切な事業終了年度を設定すること。	現状通り	今後も、待機児童解消加速化プランの着実な実施に向け、平成28年度は、新規事業の追加を行ったところであり、予算の確保及び適正な執行に努めてまいりたい。なお、待機児童解消加速化プランにおいては、平成29年度末までに待機児童の解消を図ることとしているが、待機児童が解消された後も、人口流入等による保育所の創設や施設の老朽化に伴う改築等の施設整備が必要であることから、適切な事業終了年度を設定することは困難である。	-
678	雇用均等・児童家庭局	児童福祉施設整備費	長崎	今後ともニーズの高い事業であると考えられるが、過去の執行率から判断して役30億円が妥当な予算規模と考えられる。	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	現状通り	平成27年度より子育て支援のための拠点施設が新たに対象となったことや、耐震化を図るための整備需要などが増加している。また、平成27年度の執行状況は、当初予算額に対して約50億円（執行率87.8%）を内示し、平成26年度執行額を大幅に超えている状況であり、今後もさらに追加の内示が見込まれる。これらを総合的に勘案した概算要求を行ったものである。	-
684	雇用均等・児童家庭局	児童虐待・DV対策等総合支援事業	増田	同事業の執行状況はかなり高く、社会問題化しているDV、子供対策への要望、必要性の高さを示しているものと考えられる。引き続き社会のニーズに応じる対応ができるように工夫を求める。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、社会のニーズを見極め、必要な予算額を確保し、適切な執行に努める。	-
686	雇用均等・児童家庭局	保健福祉調査委託費	横田	調査項目数の減少に対し予算額に変動が見られず、事業効率が担保されているか見えづらい。成果設定が困難とはいえ、各年度調査が（過去の事業でも構わないので）有効性のあるものか成果実績を示すこと。また高度な専門性が問われるため企画競争→随意契約となっているものの、競争性の担保を図ること。	事業内容の一部改善	成果実績を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築すること。	執行等改善	本事業は、各年度ごとの状況や必要性に応じて行われる調査・研究であり、その年度における喫緊の課題に沿った調査項目を設定している。平成27年度については、5項目実施する予定である。また、調査項目数、課題は年度によって変わるため、統一的な成果実績を設定することが困難であるが、例えば平成24年度に実施した調査研究では、施設の小規模化・地域分散化推進のための手引き書・事例集を作成し、広く周知したことにより、小規模グループケア及び地域小規模児童養護施設は年々増加傾向にあった（当該活動実績はレビューに追記。）。そのため、過去に行った調査においても、可能な限り成果実績を把握し、検証に努める。また、本事業の委託にあたっては、社会的養護やその関連分野に関する知見、また、それを活かした企画内容・実施体制が、調査研究の効果に大きく影響を及ぼすものであることから、専門的知見等を有する事業者の中でも最も優れた企画内容等を提案する者を活用することが望ましく、価格を指標とした競争にはなじまないことから、企画競争方式により調達を行っている。引き続き、適切な執行に努めて参りたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
688	雇用均等・児童家庭局	児童相談体制整備事業費	井出	執行率の向上に努め、適切な予算要求・執行をすること。	事業内容の一部改善	執行率の向上に努め、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成26年度補正予算において、児童相談所全国共通ダイヤル3桁化にかかる開発経費を計上したが、年度内に事業完了が困難となったため、平成27年度へ繰越しを行い、適切に執行を行ったところ。これにより、平成27年7月1日から3桁番号の利用が始まっている。 平成28年度概算要求では、各通信事業者が児童相談所全国共通ダイヤル3桁番号の運用にあたって必要となる設備の保守等の経費について、必要な予算額を要求している。今後とも適正な執行に努める。	-
689	雇用均等・児童家庭局	国立児童自立支援施設の運営に必要な経費	栗原	・適正に執行されている。本事業は国立児童自立支援施設の運営と児童自立支援専門員養成所の運営という2事業で構成されており、前者の活動実績は示されているが後者活動評価がないため、追記し点検すべき。	事業内容の一部改善	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、児童自立支援専門員養成所については、活動実績を把握し、事業効果を検証すること。	執行等改善	児童自立支援専門員養成所に係る活動実績として、「当該年度に児童自立支援専門員養成所を卒業する卒業生の就職率」を追記し、今後把握していく。また、引き続き必要な予算額を確保し、適切な執行に努める。	-
692	雇用均等・児童家庭局	未熟児養育費負担金	長崎	引き続き適正執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努める。	-
697	雇用均等・児童家庭局	小児慢性特定疾病登録管理データ運用事業	増田	小児の疾病にかかるデータの収集は、複雑化し且つ顕在化してきた疾病の態様に関する情報によって、今後の対策、治療方法の研究の端緒となるもので、その意義を認める。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努める。	-
698	雇用均等・児童家庭局	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業費負担金	横田	必要事業につき、各事業遂行をするための人材確保に努めるよう働きかけを行うこと。但し、H26の執行率3%の事業に対しH27年度大幅増額となっているため予算積算根拠を示し、H27年度実績をもって次年度適正な予算計上を行うこと。	事業内容の一部改善	不用額については、要因を分析し必要に応じて予算に反映させ、適正な執行に努めること。また、自治体に対して事業遂行するための人材確保に努めるよう働きかけを行うこと。	執行等改善	当該事業については、業務遂行に必要な専門知識を有する看護師・保健師等の人材を確保することが困難な自治体があったため、平成26年度は不用が生じたところである。今後、事業の積極的な実施及び内容の充実を図るため、実態の調査を行い、課題の把握及び先進的事例・好事例等の情報提供を行う等により、実施主体の取組を支援していく。 また、平成28年度概算要求では、事業に係る諸謝金及び会場借料を見直す等、適正な予算計上に努めている。 なお、平成26年度予算は法施行後3ヶ月分のみ計上に対し、平成27年度は平年度化し12ヶ月分を計上したため、大幅な増額となったもの。	-
699	雇用均等・児童家庭局	小児慢性特定疾病医療費負担金	井出	今後とも適切な予算要求とその執行をすること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努める。	-
701	雇用均等・児童家庭局	母子家庭等対策総合支援事業	栗原	・各自治体を通じて実施されている多岐に渡る事業全体について、複数の指標で点検しており、執行状況も問題ない。引き続き適切な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努める。	-
702	雇用均等・児童家庭局	養育費確保支援事業委託費	長崎	社会的ニーズの高い事業であり、継続執行が求められる。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
706	社会・援護局(社会)	保護費負担金	増田	地域的にやや偏重している感がある生活保護受給者数は、鈍化しつつあるものの依然として増加傾向にある。不正受給への対策は必須であり、引き続き厳正に制度の趣旨を守って対応して欲しい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に執行を行う。	-
708	社会・援護局(社会)	保護施設事務費負担金	横田	引き続き適正な事業執行を行うこと。自立支援が事業目的の一つであるため、成果指標に地域移行者数の記載なども検討していただきたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に執行を行う。また今後、成果指標に地域移行者数の記載等についても検討したい。	-
714	社会・援護局(社会)	ホームレス実態調査	井出	事業開始から15年以上が経過しているため、事業の再構築なども検討してはどうか。今後とも適切な予算要求と執行をすること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、適切に執行を行う。	-
715	社会・援護局(社会)	社会福祉法人制度検証事業	栗原	・目的、実施内容、委託先選定等、H26年度の単年度調査事業とし目的適切に執行されている。成果物を有効利用しあり方の検討により役立てるため、集計対象がいずれも公表データであることを勘案して成果物を開示することを検討して頂きたい。 ・集計分析できなかったデータ不備の団体が全体の1/4あり、不備の原因調査と是正の検討を早急に行うことが望ましい。	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
716	社会・援護局(社会)	生活困窮者自立支援制度人材研修事業	長崎	平成26年新規事業であり、引き続き適正執行が求められる。	事業内容の一部改善	会議の開催回数等を見直し、予算額を縮減すること。	縮減	研修内容を検討するための研修企画運営委員会の開催回数等の見直しを行うなどにより経費の縮減を行った。	▲0
720	社会・援護局(社会)	福祉サービスの第三者評価等事業	増田	福祉サービスの第三者評価は必要な手続であり、当事業の必要性を認める。	事業内容の一部改善	旅費等の単価を見直し、予算額を縮減すること。	縮減	補助単価の見直しにより予算額を縮減(▲0.572百万円)	▲1
749	社会・援護局(援護)	中国残留邦人等身元調査事業	横田	引き続き適正な事業執行に努めること。	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	中国残留邦人居所不明者等調査経費については実績を踏まえ対象予定人員(5人→1人)及び調査対象地域(4→1)の見直しを行った。(△321千円)	▲0
752	社会・援護局(援護)	保険料追納一時金事業	井出	26年度までの執行率低調を受けて、27年度予算が計画されているが、同様に次年度予算要求においても勘案すること。	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	執行等改善	保険料追納一時金の対象者数について、執行率を踏まえ見直しを行った(11件→1件)。しかし、保険料追納一時金については申請却下処分の取消を求めた訴訟に国側が敗訴した事例が生じたため、平成28年度要求には同様の却下処分への対応のための予算を計上したため、増額要求となっている。	-
756	社会・援護局(援護)	戦没者叙勲等の進達等事業	栗原	・迅速かつ適切に執行されている。引き続き適切な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)	
759	障害部	障害支援区分管理事業	長崎	業務の集計・分析は継続して実施することが必要であり、一般競争入札による事業実施は適切である。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、一般競争入札により競争性を確保しつつ、必要な予算の確保、適正な執行に努める。	-
760	障害部	自殺対策関係事業	増田	心を病んでいる人は予想外に多く、心療内科医の手が足りない程である。どのように自殺者を思い留ませ、遺族の心のケアを如何にするかは大きな問題であるため、当事業の必要性を認める。限られている予算であるが、専門家の研修以外の方策もあっていいのではないかと考える。	事業内容の一部改善	より効果的な他の手法に重点化すること。	現状通り	本事業の実施にあたっては、一般競争入札を行い最低価格落札を行うことで、限られた予算の中で効果的な執行に努めているところ。また、別の事業として、自殺防止対策事業や地域自殺対策推進センター（仮称）事業等実施しているところ。	-
761	障害部	障害者自立支援給付	横田	法律に基づき、引き続き適正な事業執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
763	障害部	地域生活支援事業	井出	開始年度から10年近くが経過することに鑑み、必要性の再認識、事業目標達成のための効果的な手法を検討すること。	事業内容の一部改善	事業効果の大きいメニューに重点化すること。	現状通り	地域生活支援事業については、事業内容の充実や実施率の低調な事業の廃止を行う等、メニューの見直しを例年行っているところである。また、必須事業の実施について、未実施の市町村に対し、体制整備を進めるよう課長会議において督促しているところであり、今年度も引き続き周知を図ってまいりたい。	-
765	障害部	給付費支払システム事業	栗原	・全国一元化したシステムで執行されており、制度改定や処理件数の増加にも適切に対応している。システム関連の委託先が1社への随意契約となっているが、システム開発と運用管理を分離し、後者に入札方式の導入による効率化の余地があるか検討して頂きたい。 ・H28年度を終了年度としているが、その後も保守費等の経常的にかかる費用を安定的に確保する必要があり、これら運営費は国の補助を想定していないのか明確にすること。	事業内容の一部改善	競争性のある契約方式へ移行すること。	執行等改善	自治体における統計データ活用を促進するべく、推進枠として「自治体等における統計データ活用促進支援等」を新規に要求	-
767	障害部	障害者就業・生活支援センター事業	長崎	引き続き適正執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
769	障害部	発達障害・重症心身障害者の地域生活支援モデル事業	増田	事業の目的が①発達障害児と②重症心身障害者に絞られて、予算が縮減されたが、社会的に求められている事業である。ただ、特定に団体に対する補助になっており、効果が限定的ではないか。	事業内容の一部改善	より効果的な他の手法に重点化すること。	現状通り	重症心身障害児者の地域生活支援モデル事業については、平成27年度から全国展開を図るため、より広域的な観点からの支援体制の構築を進めるための事業内容に組換えを行ったところであり、平成28年度概算要求についても広域的な観点から様々な関係者が連携しつつ支援体制を構築するための事業とした。 引き続き、より効果的な手法の検討を行いつつ、事業報告会等を通じてモデル事業の周知・活用を図ってまいりたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
777	障害部	国連・障害者の十年記念施設運営等	横田	運営団体以下の支出先が随意契約となっている。競争性の確保が必要と考えられる。	事業内容の一部改善	競争性のある契約方式へ移行すること。	執行等改善	運営団体以下の支出については、障害者雇用を図るための発注や、少額であるため競争契約に馴染まないものが含まれている。一方、国においては、一定額以上の契約について、競争性の確保に努めるため、原則として入札としていることから、当該委託団体においてもその取扱いに準じた契約方式とするよう検討してまいりたい。	-
783	障害部	心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関整備等	井出	26年度までの執行率低調を受けて、27年度予算が計画されているが、同様次年度予算要求においても勘案すること。また、開始年度から10年近くが経過することに鑑み、必要性の再認識、事業目標達成のための効果的な手法を検討すること。	事業内容の一部改善	より効果的な他の手法に重点化すること。	縮減	指定入院医療機関のない地域への整備が課題となっているが、地元自治体や周辺住民の理解が得られない等の理由により、計画通りに整備が進んでいないため、執行率が低調に推移しているところである。引き続き地元の理解を得るため関係機関への働きかけを行い、28年度予算要求においても、近年の執行実績を踏まえ、新規整備計画の規模を見直すなど要求額の縮減を行うこととした。	▲117
796	障害部	障害者総合福祉推進事業	栗原	・指定課題件数の減少による執行額の見直を図っている点は適切であり、採択に当たり外部有識者の審査を導入している点も適当。しかしながら、そもそも指定課題の内容と件数の妥当性について検討するプロセスが必要であり、事業規模が縮小する中で今後のあり方についても検討すべきである。また、委託先が長期に固定されていないか点検して頂きたい。	事業内容の一部改善	活動実績を把握し、事業効果を検証する仕組みを構築すること。	執行等改善	継続的に実施している課題や、障害福祉行政の新たな動向を踏まえ、今後発生しうる課題のため、一定の予算の確保は必要であるが、法施行後3年後の制度見直しに係る課題の減少が見込まれることにより、概算要求は対前年比10%削減した。なお、委託先については、公募により募集し、外部有識者の審査を経て決定しており、一定の競争性は確保されている。	-
808	年金局	基礎年金給付に必要な経費	長崎	国民年金法に基づく当該支出を円滑に行うため必要な予算措置を適切に行うことが求められる。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めてまいりたい。	-
817	年金局	社会保険オンラインシステムの見直しに必要な経費	増田	社会保険オンラインシステムを再構築するための大型予算と理解した。マイナンバー制度の導入も予定されており、作業が二重手間にならないよう注意して発注行為をすること。	現状通り	システム開発等の状況を踏まえ、適正な予算を確保し適正な予算執行に努めること。	現状通り	システムの再構築に当たっては、番号制度への対応に必要なシステム構築と一体的に取り組むことにより効率化を図ることとしている。	-
822	年金局	①国民年金基金等給付費負担金 ②存続厚生年金基金等未納掛金等交付金	横田	現行通り、適正に事業執行を行うこと。	現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。	現状通り	①国民年金基金等給付費負担金 引き続き、実績報告等から請求額が適正であるかの確認を行っていく。 ②厚生年金基金等未納掛金等交付金 引き続き、実績報告等から請求額が適正であるかの確認を行っていく。	-



レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
828	老健局	地域支援事業交付金	井出	事業目的、手法は是認する。開始年度から10年近くを経過することになるので、事業成果・効果を一度正確に検証することも必要ではないか。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	地域包括ケアシステムの構築に資する新しい総合事業への移行状況等を踏まえつつ、必要な予算額の要求を行った。また、今後についても、交付決定の際は、事業計画において事業内容、経費の支出予定等を確認するとともに、実績報告書による精算の際は、事業実施状況、支出内容・額等について精査することにより、適正な執行を図っていく。	-
832	老健局	介護サービス指導者等養成・認定調査員研修等事業	栗原	・4事業（うち2事業がH27年度より開始）の各々についてアウトカム、アウトプット、単価を点検している点は妥当である。 ・今後、4事業についての役割分担や対象者の重複状況等の実態を把握しつつ、必要に応じて人材研修の合理化を図って頂きたい。また、指導人材の配置イメージに沿った本研修の規模感を想定しつつ、適切な執行に努めて頂きたい。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者のご指摘も踏まえつつ、引き続き適正執行に努めていく。	-
837	老健局	地域介護・福祉空間整備推進交付金	長崎	平成26年度に行った大規模なケアシステム構築後の事業実施であるが、有効活用のためにも適正な執行が求められる。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	ご指摘を踏まえ、適正な執行に努めます。	-
838	老健局	介護給付費負担金	増田	高齢化社会の到来によって給付額の増加は避けられないが、給付内容に各自治体で相違が生じているとの報道を耳にする。介護保険の負担の相互扶助の趣旨の理解浸透のためにも、給付の公平性を保つことが重要と考えており、そのための方策の検討を求める。 高齢化社会の到来によって給付額の増加は避けられないが、給付内容に各自治体で相違が生じているとの報道を耳にする。介護保険の負担の相互扶助の趣旨の理解浸透のためにも、給付の公平性を保つことが重要と考えており、そのための方策の検討を求める。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	介護給付費負担金は、各保険者における介護給付及び予防給付に要する費用の一定割合を国が負担する、法で定められた負担金であるため。	-
847	大臣官房(国際課)	国際機関分担金	横田	現行通り、適正に事業執行を行うこと。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
854	大臣官房厚生科学課	国際機関等拠出金	井出	今年度限りの事業であり、適切な予算執行である。	終了予定	本事業は当初予定の成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	本事業は、当初の目的を達成したため、当初の予定通り26年度をもって終了した。	-
857	職業能力開発局	アジア太平洋地域人材養成協力事業	栗原	・事業内容の定期的な見直し、執行額の効率化を図りながら継続されており、引き続き適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、事業内容の定期的な見直し、執行額の効率化を図りながら、開発途上国の職業能力開発の推進に必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
869	試験研究機関	化学物質による緊急の危害対策を支援する知識情報基盤事業費	長崎	引き続き適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、本事業に必要な予算を要求することとした。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版					
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
870	試験研究機関	国立医薬品食品衛生研究所競争的研究事務経費	増田	厚生科 研究費及び文科 研究費の事務管理費を非常勤職員で対応していますが、継続事業であるため、習熟度の向上を期する方法手段によって経費の縮減の検討を努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	これまでも競争的研究費に係る事務経験がある者を雇用することにより経費の縮減に努めているところであるが、金額や件数が多大な現状ではこれ以上の削減は難しいため、適正な管理を行うという目的を達成するために必要最小限の額を要求しているものである。	-
872	試験研究機関	医薬品の安全性に関する情報の科学的・体系的収集、解析、評価、及び提供に係る研究事業	横田	引き続き、適正に事業執行を行うこと。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、本事業に必要な予算を要求することとした。	-
880	試験研究機関	国立保健医療科学院基盤的研究費	井出	今後とも適切な予算要求と執行をすること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	-
901	試験研究機関	生物学的製剤の安全性情報収集、解析、評価に係る研究事業費	栗原	・H25にスクリーニング方法の改善を図り、また毎年コスト削減に努めつつ成果を維持しており、適正に執行されている。H27年度は活動内容に変化が見られないにもかかわらず予算が激減している点について説明を付加し、適度な削減になっていないことを点検すべき。引き続き適正な執行に努めて頂きたい。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	スクリーニング方法の改善を図ることにより、26年度の執行内容をコスト削減面からも精査したところ、事業内容を維持しつつ、一層見直しが可能と見込まれたことにより、27年度の予算を算出し、引き続き本事業に必要な予算として要求した。	-
902	試験研究機関	特別研究費（将来人口推計のための調査分析ならびにシステム開発事業）	長崎	平成26年度で終了した事業であり、適正執行であった。	終了予定	本事業は当初予定の成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
904	試験研究機関	生活環境研究	増田	水質の監視は必要な業務であり、限られた予算で目的の達成を期待。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	-
905	試験研究機関	新興・再興呼吸器感染症への対応事業費	横田	H26年度終了事業。点検結果において「リソース不足による関連新興感染症の検査打ち切り」とあるが、新たな感染症の発生を含めて対応しうる予算検討の必要性を十分検討すること	終了予定	事業の達成状況等を検証し、廃止の妥当性を検証すること。	予定通り終了	当該事業は平成26年度にて終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。また、平成27年度から地衛研の機能が強化されていることから、新たな感染症の発生に対しても、一定の対策を講じられることが期待できるが、今後も感染研として実施事業の範囲内にて支援を行っていく。	-
906	試験研究機関	ロタウイルスワクチン検定及び品質管理に関する基礎研究	井出	今後とも適切な予算要求と執行をすること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	-
907	試験研究機関	新たな動物由来感染症の事前対応型防御に向けた基礎的・応用的研究事業	栗原	・H26年度に事業を終了し、一定の成果を確認しており、適正な執行が行われた。	終了予定	本事業は当初予定の成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版				
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	反映額(百万円)	
911	試験研究機関	長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関する研究	長崎	引き続き適正な執行に努めること。	事業内容の一部改善 執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	現状通り	平成26年度は想定より事業の進捗が早かったため、補助員の雇用日数が減り、賃金等に不用品が生じた。平成28年度は恒常的な補助員の雇用が必要のため当該事業に必要な予算を要求している。	-
912	試験研究機関	社会保障サービスの受益・業務負担軽減に向けた地域組織の空間的配置・人的連携の基礎的研究	増田	限られた予算によって、各自治体での社会保険サービスの実態調査と情報提供業務に必要な性を認め、引き続き適正な執行に努めること。	現状通り	現状通り	引き続き必要な予算を確保し、適正な執行に努める。	-
917	統社	社会保障・税番号活用推進事業	横田	適正に事業執行を行うとともに、システム改修費用の妥当性を図り、システムの保全を担保したうえでコスト削減に努めること。	事業内容の一部改善 システム保全を担保のうえ、可能な限りコストの削減に努めること。	執行等改善	各自治体及び医療保険者に対するマイナンバー制度に必要なシステム整備等に関する説明会を行う際には、ベンダーからの見積に対する精査方法を提示する等して、執行段階で過大な経費をかけず適切な経費でシステム改修ができるように対処している。	-
918	大臣官房(国際課)	国際会議に必要な経費	井出	事業開始から15年以上が経過しているため、事業の再構築なども検討してはどうか。今後とも適切な予算要求と執行をすること。	事業内容の一部改善 外部有識者の所見を踏まえ、事業開始から15年以上経過していることから、事業の再構築なども検討すること。また、経費を精査した上で、適切な予算額を確保し、執行に努めること。	縮減	本事業は国際会議に出席するために必要な経費であるが、各年度に開催される会議は異なっており、開催状況に応じて要求内容を見直している。今後も会議開催状況を踏まえて要求内容の見直しを行い、必要に応じて事業の再構築を検討したい。また、経費について、予算の執行実績を踏まえて検証を行い、その結果、平成28年度要求において、庁費の積算単価の見直しを行い、平成27年予算額より▲0.536百万円(携帯電話借上)を反映した。	▲1
921	統計情報部	人口動態調査費	栗原	・遅滞なく適切に執行されている。調査の安定性を維持しつつも、現在紙媒体で行われている調査フローの改善を、コスト効果も含め検討すべきではないか。	事業内容の一部改善 紙媒体で実施している調査フローの改善について、コスト効果も含め検討すること。特に、オンライン報告システムの更なる活用(オンライン化率の向上)について検討すること。	縮減	更なるオンライン実施率の向上を目指し、オンライン未実施自治体の実態等を把握し、紙の調査票の作成経費等を縮減した。	▲2
923	統計情報部	衛生統計調査費	長崎	印刷、梱包発送業務は随意契約ではなく、一般競争入札によることが望ましい。	事業内容の一部改善 競争性のある契約方式への移行について検討すること。	現状通り	印刷、梱包発送作業業務は、調達時期を踏まえて調査ごとの調達とする必要があり、その調達見込み額が少額であることから、事務の効率化を図るため随意契約を行っているもの。	-
934	統計情報部	毎月勤労統計調査費	増田	ほぼ予算通りの執行になっているが、殆どが地方自治体への調査委託費である。定例的な調査であるので、調査方法のフォーマット化を進めてより簡便な入力環境にすることで委託費の縮減努力をすること。	事業内容の一部改善 地方自治体への調査委託費については、縮減に向けた検討を行うこと。また、オンライン報告の更なる活用(オンライン化率の向上)について検討すること。	縮減	オンライン化率向上に伴う都道府県への調査委託費における諸経費を縮減。	▲11
940	地方課	地方厚生局の移転に必要な経費	横田	引き続き、適正な事業執行を行うこと。移転未実施事務所数の公表も検討し事業終了年度設定などをあわせて検討していただきたい。	事業内容の一部改善 点検結果も妥当であることから、引き続き、適正な執行を行うとともに、外部有識者の所見を踏まえ、移転未実施事務所数の公表を検討し、事業終了年度設定などを併せて検討すること。	執行等改善	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。また、事業終了年度については、事業の性質上困難である(関係当局との調整が整わない限り移転は計画できない)ため、設定を見送ることとしたが、移転未実施事務所数については、行政事業レビューシート上にアウトプット項目を追加し記載した。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	担当有識者	最終版				
				外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見	所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況		反映額(百万円)
950	障害部	国立更生援護機関施設整備事業（復興関連事業）	井出	終了した事業であるが、随意契約が散見され、本来ならより競争性を確保するべきであったのではないかと。	終了予定 事業は当初の予定通り平成26年度をもって終了（一部については、平成27年度へ繰越）することとするが、機関全体において、より競争性のある契約方式への移行について引き続き検討すること。	予定通り終了	機関全体において、一般競争入札を原則とした契約方式を取り、競争性を確保することとする。	-
953	医薬食品局	あへん倉庫整備事業	栗原	・H28年度の完成に向けて進捗状況を適切に管理し、検収すること。完成後は施設運営費がかかることから、適切な予算計上・執行に努めること。	現状通り 外部有識者の所見を踏まえ、平成28年度の完成に向けて進捗状況を適切に管理し、検収すること。完成後の施設運営費についても、適切な予算計上・執行に努めること。	現状通り	評価結果を踏まえ、必要な経費を計上した。	-

評価	事業数	反映額(百万円)
廃止	5	▲ 622
縮減	29	▲ 9,382
執行等改善	36	0
予定通り終了	27	0
現状通り	105	0
合計	202	▲ 10,004